

没後40年 朝井閑右衛門展

4/22(土)ー6/18(日) (休館日:5/8,6/5)



朝井閑右衛門《薔薇(法華壺)》1981年
神奈川県立近代美術館蔵

油彩、水墨画や素描の代表作に加え、朝井閑右衛門の知られざる収集品かつ作品世界をかたちづくる骨董・人形や、自筆の手帳、制作のための写真など約200点を紹介し、その新たな魅力を検証します。

new born 荒井良二

いつもしらないところへ
たびするきぶんだった
7/1(土)ー9/3(日) (休館日:7/3,8/7)



荒井良二《流れ星スパーク奏てよギター》
2022年、個人蔵

あたたかく鮮やかな色彩とタッチで日常の喜びや未来への希望を描く絵本作家・荒井良二の絵本原画やイラストレーション、新作絵画など約300点を通して、荒井の今を紹介します。

ロイヤル・コペンハーゲンと 北欧デザインの煌めき

9/16(土)ー11/5(日) (休館日:10/2)



《マーガレット・サーヴィス》1904-22年
ロイヤル・コペンハーゲン/デザイン:アーノルド・クロー
塩川コレクション

デンマークを代表する陶器メーカーであるロイヤル・コペンハーゲンから生み出された作品を中心に、北欧の暮らしを豊かに彩ってきたさまざまな陶磁器、銀器、ガラス器など、欧州・日本のコレクターが所蔵する幅広い作品100点あまりを公開します。

となりの国の絵本 躍動する韓国イラストレーションの世界

11/18(土)ー12/24(日) (休館日:12/4)



スージー・リー『せん』(オリジナル版2017年発行)原画
作家蔵

国際的な絵本コンペの場で、近年めざましい存在感を示す韓国発の絵本の世界。本展では、その躍進を支える注目作家9人に焦点をあて、1990年代後半から2000年代以降の作品を中心に、約200点の絵本原画や制作過程のスケッチなどをご紹介します。

第76回児童生徒造形作品展

1/11(木)ー1/29(月)

(観覧料:無料、休館日:なし)



第75回展示風景

横須賀市立の幼・小・中・高・ろう・養護、すべての学校園の子どもたちによる作品展。日頃の授業でつくり上げた平面作品や立体作品など約3,000点の展示を通して、子どもたちの制作意欲や作品への思いをお楽しみください。

日本の巨大ロボット群像

ー巨大ロボットアニメ、
そのデザインと映像表現ー
2/10(土)ー4/7(日) (休館日:3/4,4/1)



加藤直之・宮武一貴《宇宙の戦士》1977年 ©スタジオぬえ

1963年のテレビアニメ『鉄人28号』放映から60年。日本では脈々と「巨大ロボット」が登場するアニメーションが制作されてきました。その魅力とは何なのか?歴代巨大ロボットのデザインと映像表現の特質に迫ります。

2023-24 所蔵品展・谷内六郎館年間スケジュール

令和5年度第1期所蔵品展・谷内六郎館

4/8(土)ー7/2(日) (休館日:5/8,6/5)

特集:箱根・横須賀連携企画第1弾 箱根ラリック美術館所蔵
「明日への祈り展 ラリックと戦禍の時代」

特集:新収蔵品展

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 「影のイマジネーション」

「明日への祈り展」

近代ガラス工芸の第一人者ルネ・ラリックが、苦難の日々を生きる人々のため、チャリティーの目的で制作したメダルなど約70点をご紹介します。



ルネ・ラリック
《ブローチ「全国結核患者の日」》
1917年頃、箱根ラリック美術館蔵



谷内六郎《ビー玉の影は昔のあそび》
1977年、当館蔵
©Michiko Taniuchi

令和5年度第2期所蔵品展・谷内六郎館

7/8(土)ー10/1(日) (休館日:8/7,9/4)

特集:「没後20年 若林奮」

荒井良二が選ぶ 谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展
「毎週ぼくは谷内六郎に会っていた」



若林奮《飛葉と振動Ⅱ》
2003年、当館蔵

「特集:没後20年 若林奮」

2023年は、美術館前庭の屋外彫刻《Valleys》の作者、若林奮の没後20年にあたります。当館所蔵の《Valleys》関連ドローイングと2003年に制作されたドローイングと小彫刻を展示します。

令和5年度第3期所蔵品展・谷内六郎館

10/7(土)ー12/24(日) (休館日:11/6,12/4)

特集:「勝又豊子 不在の向こうー白い余白」

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 「建物いろいろ」

「特集:「勝又豊子 不在の向こうー白い余白」

勝又豊子は身体をテーマとして、キャリアの初期から用いている鉄や写真、映像を組み合わせたインスタレーションを発表します。



勝又豊子《不在の向こう》
2021年、アズマティプロジェクト展示風景

令和5年度第4期所蔵品展・谷内六郎館

1/6(土)ー3/31(日) (休館日:1/9,2/5,3/4)

特集:「YOKOSUKA ART VALLEY HIRAKU」

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 「ずっとともだち」



HIRAKUロゴマーク

「特集:YOKOSUKA ART VALLEY HIRAKU」

谷戸コミュニティの新しい形づくりのため、市内田浦のアーティスト村「HIRAKU」に誘致されたアーティストたちの作品を展示するとともに、横須賀市の芸術を通じた地域の活性化活動をご紹介します。